

唐桑ボランティア団代表

加藤拓馬 講演会

夢を誰よりも信じ、突っ走る

入社と同時に休職、
がれきの町に飛び込み、
ボランティア二千人をまとめた22歳。

なぜ、彼はそこまで

唐桑復興に懸けられるのか

加藤拓馬

1989年3月生。早稲田大学卒業後、ベンチャー企業に入社。一度も出社することなく休職し、気仙沼市唐桑町でボランティア活動に励む。唐桑ボランティア団を立ち上げ、10以上のボランティア団体、数百人のボランティアをまとめる。「人と人とのつながり」を大切にし、ボランティアと地域住民、行政のかけ橋として活動している。

ブログ「遠東記」

<http://blog.canpan.info/entoki/>

彼は自身の生活を省みず、唐桑復興に携わることを人生で最も誇れる仕事をするチャンスだと語る。その情熱や価値観はどのように生まれたのか

日時：11月2日(水)15:00-16:30

場所：経済学部第三講義室

澁谷ゼミ shibuya.marketing.seminar@gmail.com

地域イノベーションセンター rirc@econ.tohoku.ac.jp